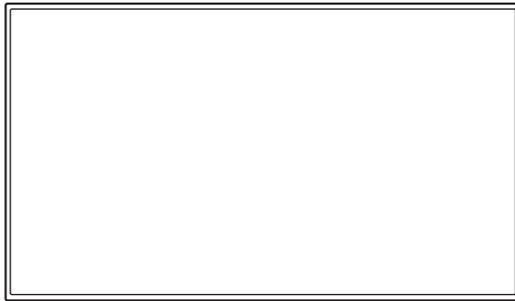


取扱説明書

UHD 液晶ディスプレイ **業務用**

品番 TH-65CQ1J (65V 型)
TH-55CQ1J (55V 型)
TH-50CQ1J (50V 型)
TH-43CQ1J (43V 型)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(3～7ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-65CQ1J (65V 型)、TH-55CQ1J (55V 型)、
TH-50CQ1J (50V 型)、TH-43CQ1J (43V 型) 共用です。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

4K
PROFESSIONAL
* 実際像度：3840 x 2160 画素

HDMI™

DOLBY AUDIO™

保証書別添付

もくじ

お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- この取扱説明書の説明イラストは、主に TH-55CQ1J (55V 型) を元に作成しています。

安全上のご注意	3
使用上のごお願い	8
付属品の確認	10
付属品	10
リモコンの電池の入れかた	10
ケンジントンセキュリティスロット	11
接続	12
電源コードの接続と固定、接続ケーブルの固定	12
映像機器の接続	13
接続の前に	14
HDMI 1・HDMI 2 端子の接続例	14
PC IN 端子の接続例	15
SERIAL IN (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)	16
AUDIO OUT 端子の接続例	18
USB 端子の接続例	18
各部の基本説明	20
ディスプレイ	20
リモコン	21
基本の操作	22
入力信号を切り換える	23
入力信号を知りたいとき	24
音量を調整する	24
消音を使う	24
映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)	25
オンスクリーンメニューについて	26
画質の調整	28
音声の調整	30
初期設定	31
表示言語切換	31
ネットワーク設定	32
HDMI-CEC 制御	33
EDID 選択	33
位置調整	34
無信号自動オフ	34
スタンバイ時電力低減設定	34
本体ボタンロック	35
リモコンロック	35
電源 LED	35
自動再生 (USB)	36
情報	36
すべてを初期化	36
ネットワーク機能を使う	37
接続に必要なパソコン環境	37
ネットワーク接続例	37

LAN への接続設定	38
コマンドベースでの制御	38
USB メディアファイル再生機能を使う	39
再生する	40
自動再生	40
再生中の操作	41
静止画の再生	42
音楽 / 動画の再生	43
HDMI-CEC 機能を使う	44
接続例	44
設定	44
プリセット信号	45
修理を依頼される前に	47
保証とアフターサービス (よくお読みください)	49
仕様	50
商標について	52

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■故障した本機には手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

■異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。



警告

電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



ショートや発熱により、火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などでショートし火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手
禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超える、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など）



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電やショートによる火災の原因になることがあります。



警告

■設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 壁への取り付けには VESA 規格準拠の壁掛け金具を必ずご使用ください。
- 製品の構造上、一部の壁掛け金具は使用できません。ご使用になる前に製品図面を確認してください。
65V 型：VESA 400 × 200
55/50V 型：VESA 400 × 200
43V 型：VESA 200 × 200
(HP 8 ページ)
- 落下防止のため、ディスプレイと壁掛け金具の重量に十分耐えるよう、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

■付属の単 4 乾電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



感電の原因となります。

接触
禁止

■上に水などの液体の入った容器を置かないでください

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)



水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■風呂場、シャワー室などでは使用しないでください



火災・感電の原因となります。

水場使用
禁止

■不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

■裏ぶた（キャビネット）を外したり、改造したりしないでください



分解
禁止

感電のおそれあり
サービスマン以外の方は、裏ぶたをあげないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

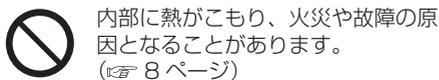
「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

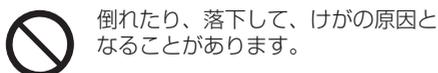
- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

注意

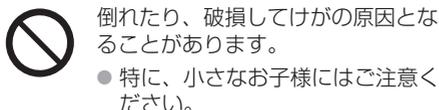
- 本機の通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- 逆さまにしないでください
- おお向けにしないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください



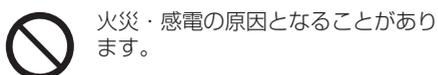
- 上に物を置かないでください



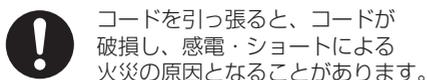
- 本機や据置きスタンドに乗ったり、ぶらさがったりしないでください



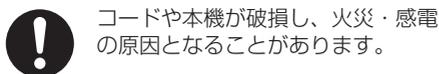
- 温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



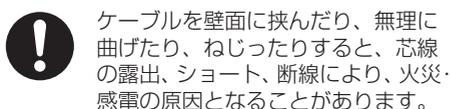
- 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）を持って抜いてください



- 移動させる場合は、電源コードや機器の接続線を外してください

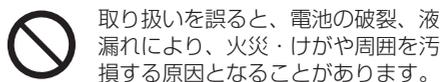


- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください

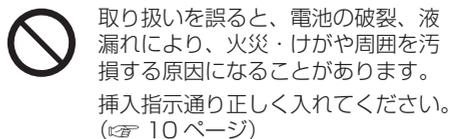


- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

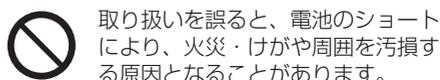
- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



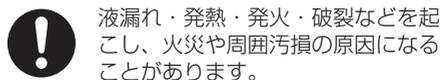
- 電池を入れるときには、極性（プラス \oplus とマイナス \ominus ）を逆に入れしないでください



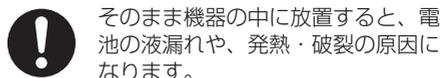
- 被覆のはがれた電池は使用しないでください



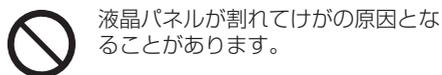
- 長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出してください



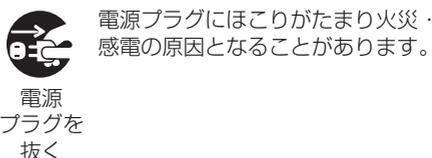
- 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出してください



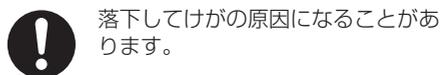
- 強い力や衝撃を加えないでください



- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



- 開梱や持ち運びは2人以上で行ってください



注意

- 据置きスタンドをご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください



地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

- 塩害が発生する所、腐食性ガスが発生する所に設置しないでください



腐食により落下し、けがの原因になることがあります。また、本機の故障の原因になる場合があります。

お手入れについて

- 一年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除については販売店にご相談ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く

使用上のお願い

■設置されるとき

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

屋外に設置しないでください。

- 本機は室内でご使用ください。

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさせて設置してください。

機器の接続は電源を「切」にして行ってください。

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- 転倒・落下により、けがの原因になることがあります。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

海拔 2 800 m 以上の場所に設置しないでください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

- キャビネットの変形や故障の原因となります。

本機の使用環境温度は、海拔 1 400 m 未満で使用する場合は、0℃～40℃、高地（海拔 1 400 m 以上～2 800 m 未満）で使用する場合は、0℃～35℃です。

- 取り付け、使用環境温度、接続、設定には条件があります。

設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

本機の液晶パネル面を立てた状態で移動してください。

- 液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

液晶パネルをつかむようなことはしないでください。

- 液晶パネルを強く押ししたり、先のとがった物で押ししたりしないでください。液晶パネルに強い力が加わると、画面表示にムラが生じ、故障の原因になります。

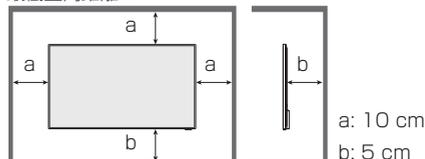
直射日光にさらされるような場所に設置しないでください。

- 室内であっても直接日光が当たると液晶パネルの温度上昇により故障の原因になることがあります。

設置時の空間距離について

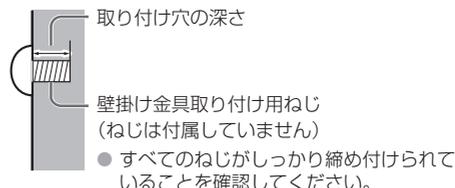
- 据置きスタンドをご使用のときは、上面・左右は 10 cm 以上、後面は 5 cm 以上の間隔をおいて据えつけてください。また、本機下面と床面との空間をふさがらないでください。
- その他の取り付けかた（壁掛けなど）でご使用のときは、対応する施工説明書に従ってください。（施工説明書に寸法の記載がない場合は、上下・左右は 10 cm 以上、後面は 5 cm 以上の間隔をおいて据えつけてください。）

最低空間距離：



- 本機の動作保証温度の上限は 40℃です。ケースや筐体内に設置する場合は、冷却ファンや通気口を設けて、液晶パネル前面を含めた本機周辺温度（ケースや筐体内温度）が 40℃以下に維持するように適切な換気を実行してください。

VESA 規格準拠の壁掛け金具を使用する場合 使用するねじについて



(側面より見る)

	取り付けピッチ	取り付け穴の深さ	ねじ（本数）
65V型	400 mm × 200 mm	17 mm	M6（4）
55V型			
50V型			
43V型	200 mm × 200 mm	14 mm	M6（4）

■接続について

電源コードや接続ケーブル抜き差しについて

- 壁への設置を行った場合、電源コード、接続ケーブルの抜き差しが困難な場合は、先に接続してから設置してください。
コード類が絡まないようご注意ください。設置が完了してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

■ご使用になるとき

本機は残像が発生することがあります。

- 静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがあります。残像は通常の動画をしばらく表示すると解消されます。

画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。

- 液晶パネルは精密度の高い技術で作られています。画面上に常時点灯または点灯しないドットが発生する場合があります。これらは故障ではありませんのでご了承ください。

	ドット抜けの割合*
65V 型	0.00005% 以下
55V 型	
50V 型	
43V 型	

* ISO09241-307 の基準に従って副画素 (サブピクセル) 単位で計算しています。

使用される温度・湿度条件によっては明るさのムラが発生することがありますが、故障ではありません。

- 連続通電でムラは消えていきます。消えない場合は、販売店にご相談ください。

液晶パネル表面について

- 液晶パネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。傷や汚れがつかないように取り扱いにご注意ください。

適度の音量で隣近所への配慮を

- 特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

ディスプレイの一部が熱くなることがあります。

- 前面パネル、天面、背面等の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

長時間で使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

ご覧になっている映像端子以外の入力端子に接続されているケーブルを抜き差ししたり、映像機器の電源を「切」「入」すると映像が乱れることがあります。故障ではありません。

■有線 LAN について

静電気が多く発生するような場所でのディスプレイの使用は、できるだけしないでください。

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でのディスプレイを使用する場合、有線 LAN での通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、有線 LAN 接続をしてください。
- まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で LAN 端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。

■セキュリティに関するお願い

本機をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本機の不正操作
- 悪意の第三者による本機の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。
(P.38 ページ)

- LAN 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック コネクト株式会社およびその関係会社、お客様に対して直接パスワードを照会することはできません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。

■お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布 (綿・ネル地など) で軽くふく

- ひどい汚れや液晶パネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 水滴が内部に入ると故障の原因になります。



お知らせ

- 液晶パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

化学ぞうきんのご使用について

- 液晶パネルの表面には使用しないでください。
- キャビネットにご使用の際は、その注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- キャビネットの破損や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。



■廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

付属品の確認

付属品

付属品が入っていることをご確認ください。

< >は個数です。

- 電源コード< 1 >
(約 2 m)

● DPVF1423ZA/X1

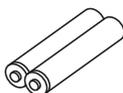


- リモコン< 1 >

● DPVF2599ZA/X1

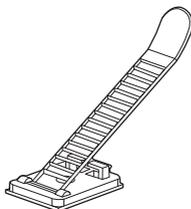


- 単 4 形乾電池< 2 >
(リモコン用)



- クランパー< 2 >

● DPVF1654ZA



- クランパー< 1 >

● DPVF1653ZA

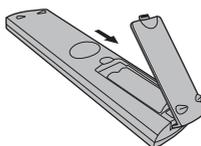


お願い

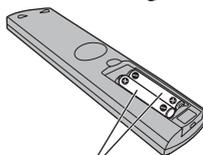
- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

リモコンの電池の入れかた

ふたをあける



電池を入れ、ふたをしめる
(⊖ 側から先に入れます。)



単 4 形乾電池

お願い

- 電池を誤って取り付けると、液漏れや腐食のために、リモコンが壊れることがあります。
- 電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。

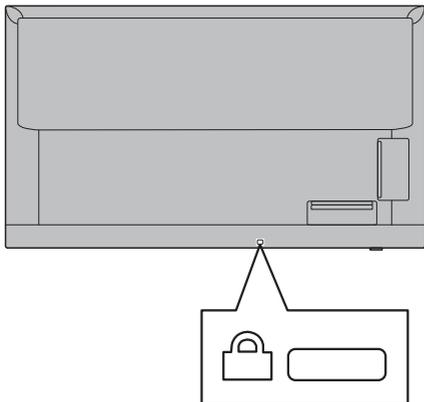
次の点にご注意ください。

1. 電池は常に 2 本 1 組で交換してください。
2. 使用済み電池と新しい電池を組み合わせないでください。
3. 異なる種類の電池を組み合わせないでください(例えばマンガン電池とアルカリ電池など)。
4. 使用済み電池の充電、分解、焼却などを行わないでください。
5. 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

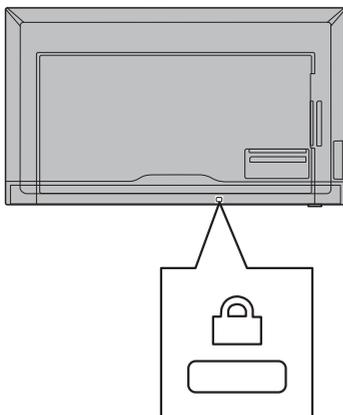
ケンジントンセキュリティ ティースロット

本機のセキュリティスロットは、ケンジントンセキュリティケーブルと互換性があります。

65V 型



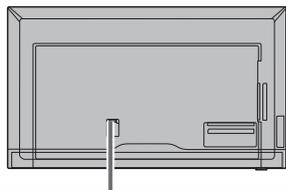
55/50/43V 型



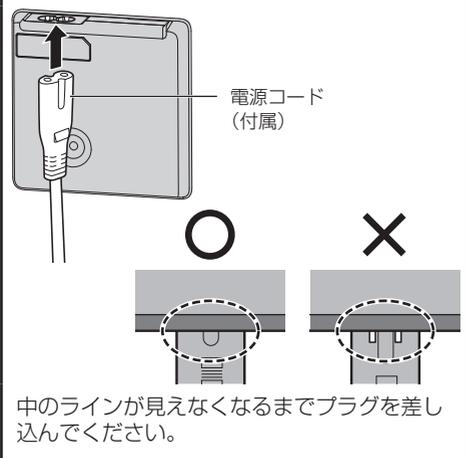
接続

電源コードの接続と固定、 接続ケーブルの固定

本体後面



電源コードは本体背面に奥までしっかり差し込んでください。



電源コード
(付属)

回 クラスⅡ 機器

お願い

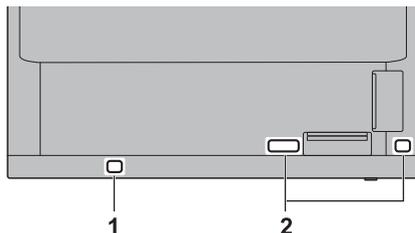
- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

接続ケーブルの固定

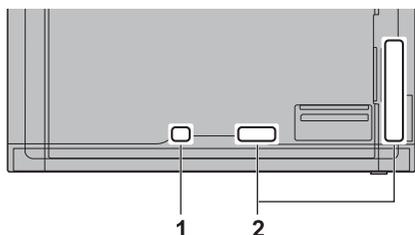
お願い

- 本機はクランパーを3本付属しています。下の図のように3カ所の穴でケーブルを固定してください。
※クランパーをご購入される場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)

65V 型



55/50/43V 型



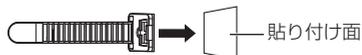
- 1 電源コード用
- 2 信号ケーブル用

1.クランパーの取り付け

お願い

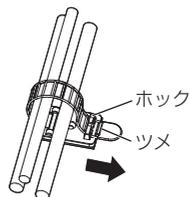
- 貼り付ける面のほこり、水、油などの汚れは拭き取り、貼り付け面にしっかり押し付けて貼ってください。
- 一度貼り付けたクランパーの再貼り付けはできませんので、貼り付け位置を十分に確認のうえ、貼り付けてください。

裏面のテープをはがし、平らな貼り付け面に貼る



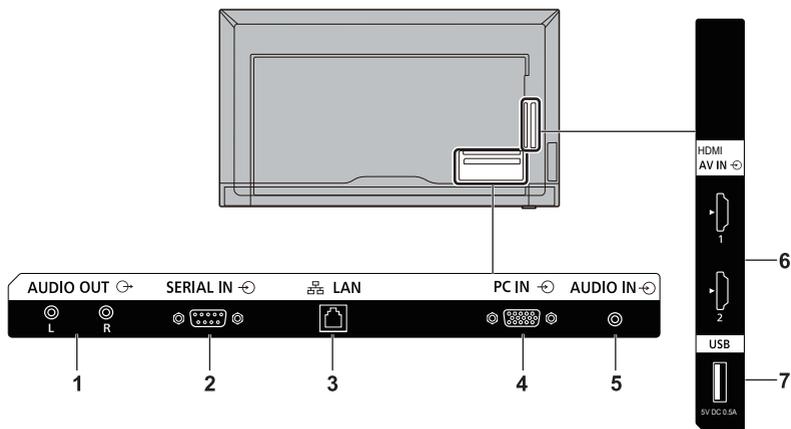
2. ケーブルを束ねる

バンド先端をホックに通して引っ張り、ツメにかける



緩め方

ツメからバンドを外し、バンド先端を引き抜く



1 AUDIO OUT : アナログ音声出力端子

アナログ音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。(☞ 18 ページ)

2 SERIAL IN : シリアル入力端子

パソコンに接続して本機を制御します。(☞ 16 ページ)

3 LAN : LAN 端子

ネットワークに接続して本機を制御します。(☞ 37 ページ)

4 PC IN : パソコン入力端子

パソコンの映像端子を接続します。(☞ 15 ページ)

5 AUDIO IN : アナログ音声入力端子

(☞ 15 ページ)

6 HDMI 1、HDMI 2 : HDMI 入力端子

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像機器を接続します。(☞ 14 ページ)

- 市販の HDMI 規格に適合した 4K 対応 HDMI ケーブルをご使用ください。

7 USB : USB 端子

USB メモリーを USB ポートに接続します。(☞ 18 ページ)

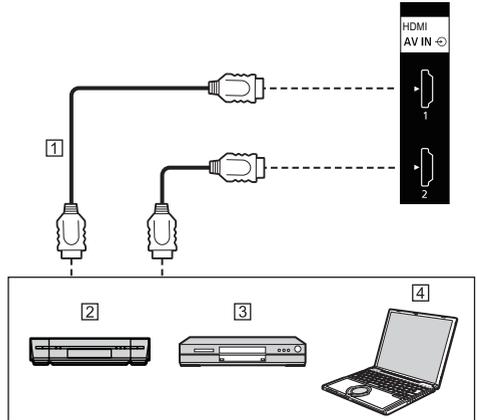
接続の前に

- 接続の前に、本機と接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
 - ・ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
 - ・本機と、本機に接続する機器とを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。ケーブルを巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
 - ・ケーブル接続時は、アースが先に接続されるように、接続する機器の接続端子部にまっすぐに挿入してください。
- システム接続に必要なケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
- プラグ外形が大きな接続ケーブルをご使用になりますと、隣接する接続ケーブルのプラグ部またはバックカバーなどに接触する場合があります。端子配列に適したプラグサイズの接続ケーブルをご使用ください。
- 爪折れ防止カバー付き LAN ケーブルを挿入した場合、カバー部がバックカバーに接触し抜けにくくなる場合がありますのでご注意ください。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を表示できないことがあります。
- 本機が表示できる映像信号については「プリセット信号」(P.45 ページ) をご覧ください。

HDMI 1・HDMI 2 端子の接続例

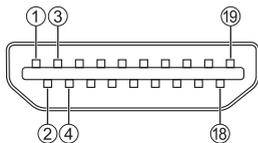
お知らせ

- 映像機器や HDMI ケーブルは本機に付属していません。
- HDMI 規格に準拠した機器を接続してください。
- 一部の HDMI 機器で映像を表示できないものがあります。
- 本機は、VIERA LINK には対応していません。



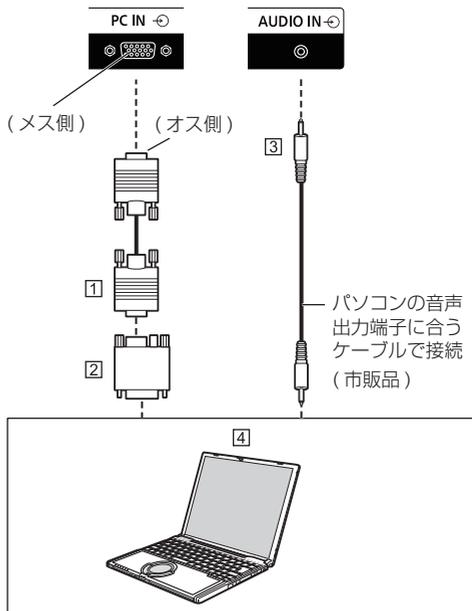
- ① HDMI ケーブル (市販品)
- ② ビデオデッキ
- ③ DVD プレーヤー
- ④ パソコン

HDMI 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ 2 +
②	T.M.D.S データ 2 シールド
③	T.M.D.S データ 2 -
④	T.M.D.S データ 1 +
⑤	T.M.D.S データ 1 シールド
⑥	T.M.D.S データ 1 -
⑦	T.M.D.S データ 0 +
⑧	T.M.D.S データ 0 シールド
⑨	T.M.D.S データ 0 -
⑩	T.M.D.S クロック +
⑪	T.M.D.S クロック シールド
⑫	T.M.D.S クロック -
⑬	CEC
⑭	———
⑮	SCL
⑯	SDA
⑰	DDC/CEC グランド
⑱	+5V 電源
⑲	ホットプラグ検出

PC IN 端子の接続例



- ① ミニ D-sub15 ピンケーブル (市販品)
- ② 変換アダプター (必要なとき) (市販品)
- ③ ステレオミニプラグ (M3) ケーブル (市販品)
- ④ パソコン

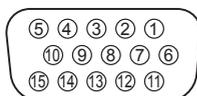
接続できるパソコン信号の種類

- 本機は「プリセット信号」(☞ 45 ページ) に記載のパソコン信号について、あらかじめ標準的な画面の位置やサイズなどの調整値を記憶しています。
(対応周波数は水平：31 kHz ~ 83 kHz、垂直：56 Hz ~ 76 Hz です。)
- 対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。
- パソコンの画面が表示されない場合はパソコンの映像信号が「プリセット信号」(☞ 45 ページ) に該当しているかご確認のうえ、設定を変更してください。ノートパソコンでは、省電力のために映像出力をオフにしている場合があります。そのときはパソコンのファンクションキーの操作などによりオンにできる場合があります。(パソコンの取扱説明書をご確認ください)

お知らせ

- パソコンや接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。
- ディスプレイのプラグ・アンド・プレイ (DDC2B) に対応していないパソコンは接続時の設定が必要です。
- D-sub15 ピン端子の機種や Mac を接続する場合には、必要に応じて市販の変換アダプターをお使いください。
※ パソコンのミニ D-sub15 ピン端子が、DOS/V に対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。
- パソコン信号の水平および垂直走査周波数を指定された周波数範囲を上回るまたは下回る範囲に設定しないでください。
- 音声は AUDIO IN 端子を利用することができます。

パソコン入力端子 (ミニ D-sub15 ピン) のピン配列と信号名



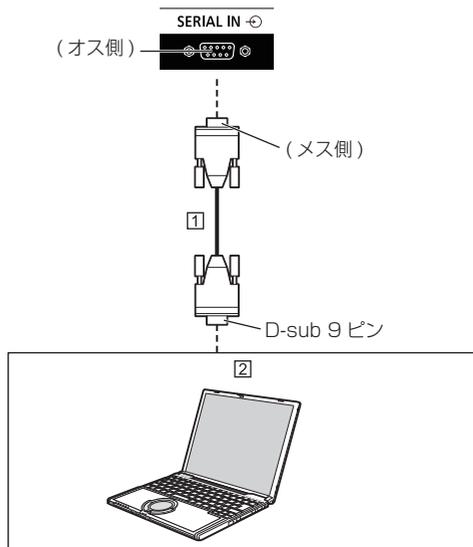
ピン No.	信号名
①	R (映像入力信号)
②	G (映像入力信号)
③	B (映像入力信号)
④	NC (無接続)
⑤	GND (アース)
⑥	GND (映像信号 R に対するアース)
⑦	GND (映像信号 G に対するアース)
⑧	GND (映像信号 B に対するアース)
⑨	+5 V DC
⑩	GND (アース)
⑪	NC (無接続)
⑫	DOC データ
⑬	水平シンクロ信号入力
⑭	垂直シンクロ信号入力
⑮	DOC クロック

SERIAL IN (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)

SERIAL (シリアル) 端子は RS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

お知らせ

- パソコンや接続ケーブルは本機に付属していません。



① RS-232C ストレートケーブル (市販品)

② パソコン

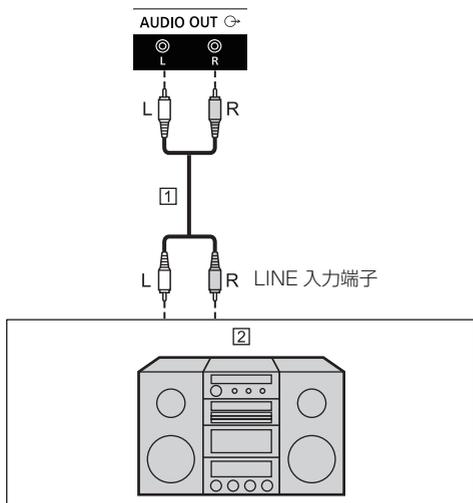
お願い

- SERIAL (シリアル) 端子とパソコンをつなぐ通信用 RS-232C ストレートケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

AUDIO OUT 端子の接続例

お知らせ

- オーディオ機器や接続ケーブルは本機に付属していません。



① ステレオ音声ケーブル（市販品）

② オーディオ機器

USB 端子の接続例

市販の USB メモリーを接続します。

お知らせ

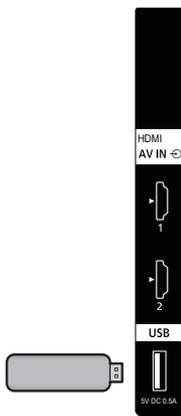
- USB メモリー以外は接続しないでください。
- USB メモリーを取り外すときは、本機の電源を切ってください。
- USB メモリー内のデータにアクセスしているときに、電源を切ったり、USB メモリーを取り出したりすると、保存されているデータが壊れることがあります。データにアクセスしている間は、USB メモリーのアクセスランプが点滅します。

■対応 USB メモリーについて

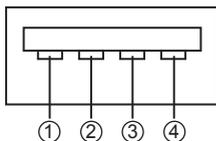
ファイルシステム	FAT16 または FAT32
サイズ	最大 32GB (最大ファイルサイズ 4GB)

お知らせ

- セキュリティー機能や書き込み禁止機能がついた USB メモリーは使用できません。
- USB 端子に挿入できる形状の USB メモリーを使用してください。一部の特殊な形状の USB メモリーは挿入できません。USB メモリーを無理に挿入しないでください。故障の原因になります。



USB 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	+5 V DC
②	DATA -
③	DATA +
④	GND (アース)

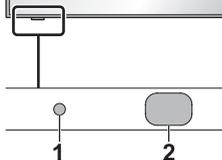
受像時に 5V/0.5A まで外部機器に電源を供給する事ができます。

お願い

- スティック PC などのサイズにより、本機に直接接続できない場合は市販の延長ケーブルをご使用ください。
- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。本機に接続可能な USB メモリーをご使用ください。
- USB メモリーを接続する際は、プラグの方向を確認して、端子を傷めないように注意してください。
- USB メモリーを取り出すときは以下の点に注意してください。
 - 接続した USB メモリーのアクセスランプが点滅しているときは、ディスプレイがデータを読み込んでいることを示します。点滅中は USB メモリーを取り出さないでください。
 - USB メモリーによっては、アクセスしていない状態でもアクセスランプが点滅したままになる場合、または、アクセスランプなどの機能がいない場合があります。その場合は、次の ① または ② の操作を確認後に USB メモリーを取り出してください。
 - ① 入力を USB 以外に切り換え、USB メモリーにアクセスする機能が終了している
 - ② 本体の電源を切る
 - USB メモリーの接続と取り出しを頻繁に繰り返すことはお止めください。接続してから少なくとも 5 秒待ってから、USB メモリーを取り出し、再び接続する場合は、少なくとも 5 秒待ってから、接続してください。ディスプレイが、USB メモリーの接続と取り出しの切り換わりを認識できるように、ある程度の時間を置く必要があります。
 - データにアクセスしている途中で誤って本機の電源を切ったり、USB メモリーを取り出したりすると、次回 USB メモリーを使用時にデータにアクセスできないことがあります。
その場合は、本体の電源を切 / 入してください。

各部の基本説明

ディスプレイ



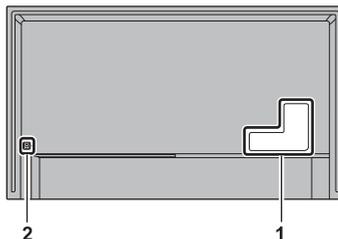
1 電源ランプ

本体の電源「入」のとき（電源ボタン (⏻)「入」)

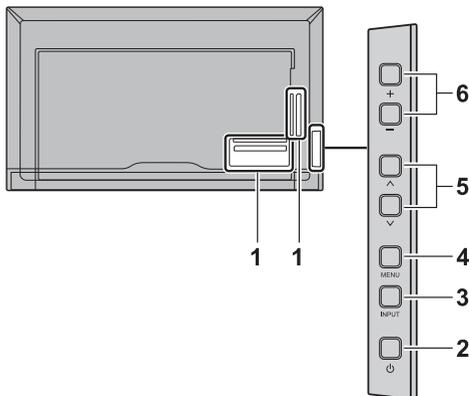
- 映像表示状態：緑色点灯
- スタンバイ状態：赤色点灯

2 リモコン受信部

65V 型



55/50/43V 型



1 外部入出力端子

映像機器やパソコンなどを接続します。
(☞ 13 ページ)

2 電源ボタン (⏻)

電源を「切」「入」します。

3 INPUT ボタン (55/50/43V 型のみ)

接続された機器を選択します。(☞ 24 ページ)
メニュー画面で項目を決定します。

4 MENU ボタン (55/50/43V 型のみ)

メニュー画面を表示します。(☞ 26 ページ)

5 上下ボタン (55/50/43V 型のみ)

メニュー画面で設定項目を選択します。
(☞ 26 ページ)

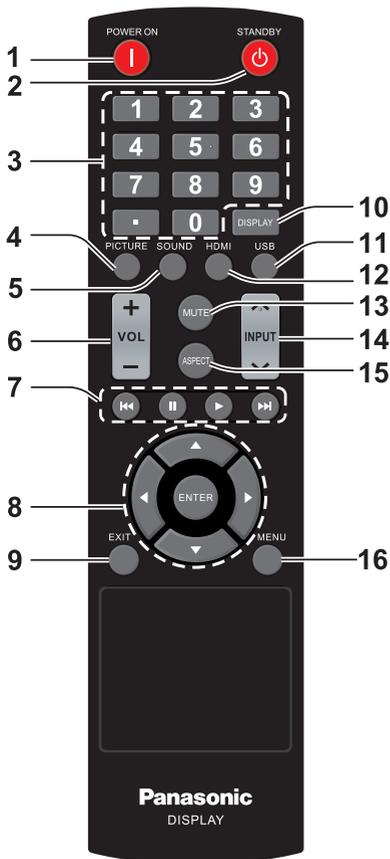
6 +- ボタン (55/50/43V 型のみ)

音量を調整します。(☞ 24 ページ)
メニュー画面で設定の切り換えやレベルを調整します。(☞ 26 ページ)

お願い

- 本機の内蔵スピーカーから音声を出力する場合は「音声の調整」メニューの「内蔵スピーカー」を必ず「有効」に設定してください。(☞ 30 ページ)

リモコン



1 POWER ON ボタン (I)

- 電源が「切」(スタンバイ)のときに「入」(受像状態)にします。

2 STANDBY ボタン (⏻)

- 電源が「入」のときに「切」(スタンバイ)にします。

3 数字 (0 ~ 9) ボタン / ・

- LAN 設定時に数字を入力します。

4 PICTURE

- 「映像メニュー」を設定します。
([P.28](#) ページ)

5 SOUND

- 「音声メニュー」を設定します。
([P.30](#) ページ)

6 VOL + / VOL -

- 音量を調節します。

7 ナビゲーションボタン (◀▶, ⏪, ⏩)

- USB メニューや HDMI CEC 機能の操作に使用します。

8 ENTER / カーソルボタン (▼▲◀▶)

- メニュー画面の操作に使用します。
([P.26](#) ページ)

9 EXIT

- メニュー画面を終了します。
([P.26](#) ページ)

10 DISPLAY

- ディスプレイに表示している信号の情報を表示します。

11 USB

- USB 入力に切り換えます。

12 HDMI

- HDMI 入力に切り換えます。

13 MUTE

- 音声ミュートをオン / オフします。
([P.24](#) ページ)

14 INPUT ▲ / ▼

- ディスプレイに表示する入力を切り換えます。
([P.24](#) ページ)

15 ASPECT

- 画面モード (アスペクト) を選択します。
([P.25](#) ページ)

16 MENU

- メニュー画面を表示します。
([P.26](#) ページ)

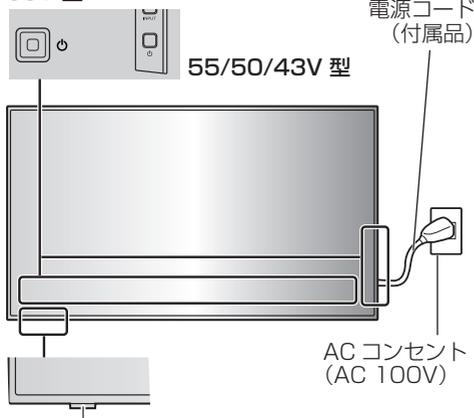
お知らせ

- 本書では <INPUT> のようにリモコンや本体のボタンを <> で表しています。
また、主にリモコンのボタンで操作説明をしています。本体に同様のボタンがある場合は、いずれのボタンもご使用になれます。

基本の操作

電源ボタン (⏻) (本体後面)

65V 型



リモコン受信部 / 電源ランプ

リモコンはリモコン受信部へ向けて操作してください



お願い

- 本体のリモコン受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- リモコンはリモコン受信部の正面あるいはリモコン受信部を見通せる方向から同部へ向けて操作してください。
- リモコンを直接本体のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信正面より約 7m 以内で操作してください。角度によっては操作可能な距離が短くなる場合があります。

- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

1 電源コードをディスプレイに接続する

(☞ 12 ページ)

2 電源プラグをコンセントへ接続する

(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

お知らせ

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- オンスクリーンメニューで設定を変更した直後に電源プラグを抜くと、設定内容が保存されない場合があります。十分に時間を置いてから電源プラグを抜くか、リモコンや RS-232C 制御または LAN 制御で電源「切」を実行後に電源プラグを抜いてください。

3 本体の電源ボタン (⏻) を押し

本体の電源を「入」にする

電源ランプ：緑色点灯 (受像状態)

- 本体の電源が「入」のとき、電源ランプは点灯し、リモコンで操作ができます。

■リモコンで「切」「入」する

電源を入れる

- 本体の電源「入」(電源ランプ --- 赤色) でリモコンの POWER ON ボタン (I) を押すと受像します。

電源ランプ：緑色点灯 (受像状態)

電源を切る (スタンバイ状態)

- 本体の電源「入」(電源ランプ --- 緑色) でリモコンの STANDBY ボタン (⏻) を押すと電源「切」になります。

電源ランプ：赤色点灯 (スタンバイ)

お知らせ

- 電源プラグを抜いた後も、電源ランプがしばらく点灯し続けることがありますが故障ではありません。

入力信号を切り換える

本機に入力された信号を選択します。



本体ボタン
(55/50/43V 型のみ)



■リモコンでの入力切換方法

方法 1)

リモコンの <INPUT> を切り換えたい入力に変わるまで押します。

HDMI 1 → HDMI 2 → PC → USB

方法 2)

1. リモコンの <INPUT> を押して入力の一覧を表示します。
2. リモコンの ▲ ▼ を押して切り換えたい入力を選択します。
3. リモコンの <ENTER> で切り換えます。

■本体での入力切換方法

1. 本体の <INPUT> を押して入力の一覧を表示します。
 2. 本体の <▲> <▼> を押して切り換えたい入力を選択します。
 3. 本体の <INPUT> で切り換えます。
- ※この方法で USB を選択したのち、他の入力に切り換える場合
- ソフトウェア V 1.07 以前では、リモコンの <INPUT> で他の入力に切り換えてください。
 - ソフトウェア V.1.08 以降では、上記に加え本体 <MENU> キーで USB 選択前の入力に切り換えてから他の入力を選択してください。

HDMI 1: HDMI 1 端子の HDMI 入力

HDMI 2: HDMI 2 端子の HDMI 入力

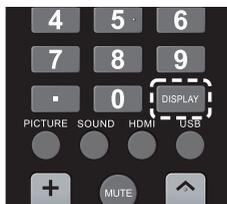
PC: PC IN 端子のパソコン入力

USB: USB 端子の USB 入力

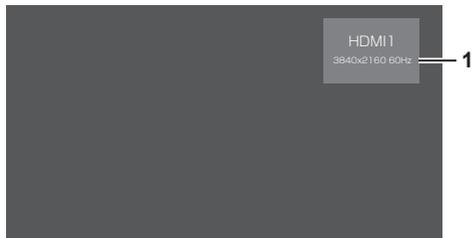
入力信号を知りたいとき

入力信号の情報を確認できます。

<DISPLAY> を押す



現在入力している信号の情報が表示されます



1 信号の種類 / 解像度

音量を調整する

リモコンの **<VOL +>** **<VOL ->** または本体の **<+>** **<->** を押して音量を調節する



本体ボタン
(55/50/43V 型のみ)



消音を使う

一時的に音声を消したいとき、来客や電話などの対応のとき便利です。

<MUTE> を押す

- 画面に  が出て音が消えます。再度押すと解除されます。



- 電源の「切」、「入」または音量を変えても解除されます。



6

- 電源を「切」にしても現在の音量を記憶しています。

映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)

<ASPECT> を押すごとに切り換わります。



ノーマル → ズーム → フル → リアル

お知らせ

- 画面モードは入力端子ごとに記憶します。

■画面モード一覧

画面	モード説明
ノーマル	<p>映像 → 拡大画面</p> <p>入力信号のアスペクト比のままの映像を表示します。</p>
ズーム	<p>16:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。</p>
フル	<p>映像を画面いっぱいに表示します。</p>
リアル	<p>入力信号に応じて画像を表示します。表示できる入力信号については、「プリセット信号」(P.45 ページ)を参照してください。</p>

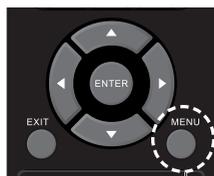
お知らせ

- 「リアル」は解像度が3 840 x 2 160を超える映像信号やインターレースの信号には使用できません。「ズーム」はPC入力には使用できません。
- ディスプレイをカフェやホテルなどで営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能を利用して画面の縮小や拡大等を行いますと、著作権法上の権利を侵害するおそれがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意ください。
- 外部機器からの映像信号などソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出る場合があります。
- ワイド映像でない4:3の映像を本機の画面モードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形したりして見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、「ノーマル」に設定してください。
- 市販のソフトウェアを再生するとき、画面の一部(字幕など)が表示されない場合があります。この場合、本機の画面モード設定で最適な画面モードを選んでください。ソフトウェアによっては、画面の端にノイズや歪みが出る場合があります。ソフトウェアの特性によるもので、故障ではありません。
- オリジナル映像のサイズによっては、画面の端に黒い帯が出る場合があります。

オンスクリーンメニューについて

1 メニュー画面を表示する

リモコン

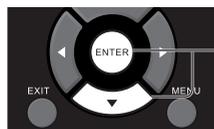


押して選ぶ

本体ボタン
(55/50/43V 型のみ)



2 設定項目を選択する



押して選ぶ



(55/50/43V 型のみ)

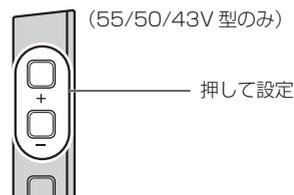
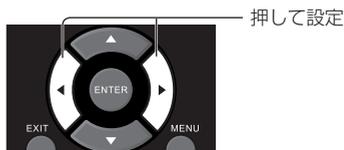
押して選ぶ

(例：画質の調整メニュー)

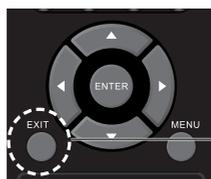


サブメニューを表示するには、<ENTER> を押してください。

3 設定する

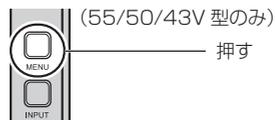


4 設定を終了する



押してメニューを終了する

<MENU> を押すと 1 つ前の画面に戻ります。



お知らせ

- 本機の設定変更時、一時的に映像、音声に乱れが発生することがありますが故障ではありません。
- 65V 型には電源ボタン以外の本体ボタンはありません。リモコンで操作してください。

メニュー画面一覧

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、メニューの設定により調整できる項目は変わります。

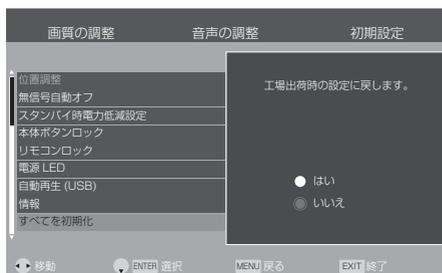
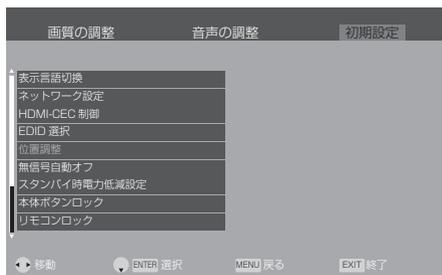
画質の調整 (P. 28 ページ)



音声の調整 (P. 30 ページ)

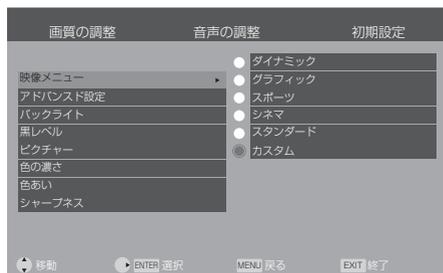


初期設定 (P. 31 - 36 ページ)



画質の調整

1 <MENU> を押して「画質の調整」メニュー画面を表示する



2 ◀▶ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります

3 ◀▶ で設定をする

4 <EXIT> を押して設定を終了する

■ 1 つ前の画面に戻るには

<MENU> を押す。

映像メニュー

映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えます

ダイナミック：

明るい部屋に適したコントラストとシャープネスの画像になります。

グラフィック：

パソコン入力に適した画像になります。

スポーツ：

スポーツの試合に適した画像になります。

シネマ：

暗い部屋で映画を視るに適したコントラストと、黒とカラーの再現性高めた画像になります。

スタンダード：

標準的な夜間の照明での視聴に適した画像になります。

カスタム：

イコライザーを使って、好みの画像に合わせて調整できます。

お知らせ

- ダイナミック / スポーツ / シネマ は、PC 入力や HDMI 入力の RGB 信号では選択できません。

アドバンスド設定

映像の拡張機能の設定をします。

アスペクト：

画面モードを変更します。
(P.25 ページ)

オーバースキャン：

オーバースキャンを設定します。

ダイナミックバックライト：

バックライトの輝度を最適化してコントラストを向上させ、トータル消費電力を削減します。

色温度設定：

画面の色調を調整します。
(10700K、9300K、6500K、ネイティブ)

お知らせ

- 「色温度設定」の数値が小さいと赤色が強調され、大きいと青色が強調されます。

- 「ネイティブ」は、液晶パネルの素の色調となります。

ノイズリダクション：

映像のノイズ（ざらつき感）を低減します。

適応コントラスト補正：

動画など変化していく映像に対して色の使い方を判断してコントラストを自動的に調整します

- 映像によっては、調整機能がスムーズに動かない場合があります。その場合は「オフ」に設定してください。

デジタルシネマリアリティー：

24 フレーム / 秒で記録された映画フィルムの映像を忠実に再生します。

- この機能は、HDMI 入力からの 480i、576i、1080i 50Hz、1080i 60Hz の信号に有効です。

モーションスモウサー：

動きの速いシーンをきれいに見せるレベルを設定します。(65V 型のみ)

バックライト

バックライトの明るさを調整します。

暗く ⇔ 明るく

黒レベル

映像の明暗度を調整します。

暗く ⇔ 明るく

ピクチャー

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

暗く ⇔ 明るく

色の濃さ

色の濃さを調整します。

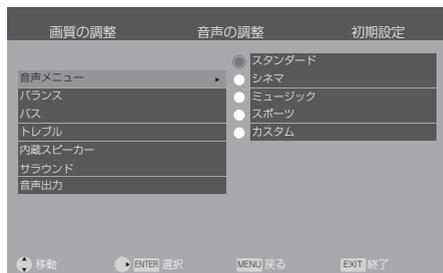
淡く ⇔ 濃く

色あい 肌色部分の色あいを調整します。
赤紫色がかった色に ↔ 緑色がかった色に

シャープネス 映像輪郭の鮮明度を調整します。
ソフト ↔ シャープ

音声の調整

1 <MENU> と ▶ を押して「音声の調整」メニュー画面を表示する



2 ▲ ▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります。

3 ◀▶ で設定をする

4 <EXIT> を押して設定を終了する

■ 1 つ前の画面に戻るには

<MENU> を押す。

音声メニュー

最適な音質を選びます。

スタンダード：

送られてくるそのままの音で聞きます。

シネマ：

シアターシステム機器と接続した場合に適切な音質にします。

ミュージック：

ミュージックビデオなどの音楽コンテンツに適切な音質にします。

スポーツ：

スポーツコンテンツに最適な音質にします。

カスタム：

イコライザーを使って好みの音質に調整します。

バランス

左右の音量を調節します。

バス

低音を調節します。

トレブル

高音を調節します。

内蔵スピーカー

内蔵スピーカーを使用するかどうかを選びます。

有効：

内蔵スピーカーを使用します。

無効：

内蔵スピーカーを使用しません。

サラウンド

オフ：

通常の音声になります。

オン：

臨場感のある音声になります。

音声出力

音声出力端子から出力される音量を固定します。

固定：

音量は固定されます。

可変：

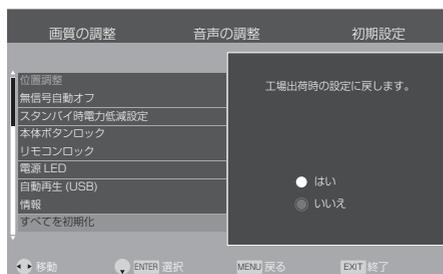
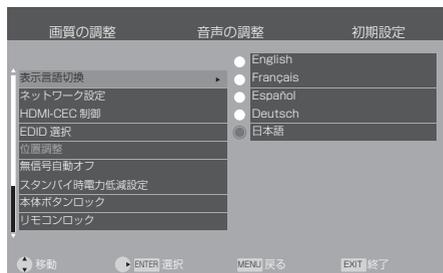
リモコンの <VOL +><VOL -> または本体の <+><-> を押して音量を調節することができます。

お知らせ

- 「バス」、「トレブル」の設定は、「音声メニュー」の「スタンダード」、「シネマ」、「ミュージック」、「スポーツ」ごとに記憶します。

初期設定

1 <MENU> と ▶ を押して「初期設定」メニュー画面を表示する



2 ▲ ▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります。調整できる項目は、入力信号と設定項目により異なります。

3 ◀▶ で設定をする

4 <EXIT> を押して設定を終了する

■ 1 つ前の画面に戻るには

<MENU> を押す。

- | | |
|--------------|--|
| 表示言語切換 | 画面に表示される言語を設定します。 |
| ネットワーク設定 | パソコンとネットワーク通信するときに設定します。 |
| HDMI-CEC 制御 | HDMI-CEC 機能のための設定をします。 |
| EDID 選択 | EDID 選択は、表示されるコンテンツの処理方法とデコード方法を設定します。 |
| 位置調整 | PC 入力の位置を調整します。 |
| 無信号自動オフ | 「有効」に設定すると、入力信号が無いと自動的に電源が切れます（スタンバイ）。 |
| スタンバイ時電力低減設定 | スタンバイ時にパソコンとネットワーク通信するときに設定します。 |

- | | |
|------------|--|
| 本体ボタンロック | 本機のボタン操作を制限するかどうか設定します。 |
| リモコンロック | リモコンのボタン操作を制限するかどうか設定します。 |
| 電源 LED | 電源ランプを点灯させるかどうか設定します。 |
| 自動再生 (USB) | USB メモリーの中にあるファイルのうち、自動的に再生する種類を設定します。 |
| 情報 | 本機のシリアルナンバーとソフトウェアのバージョンを表示します。 |
| すべてを初期化 | 設定項目を工場出荷時の状態に戻します。 |

表示言語切換

ご利用の言語を選択してください。

選択できる言語

- | | |
|------------|-------|
| English : | 英語 |
| Français : | フランス語 |
| Español : | スペイン語 |
| Deutsch : | ドイツ語 |
| 日本語 : | 日本語 |

ネットワーク設定

パソコンから本機をコントロールする方法を設定します。

「ネットワーク設定」サブメニューが表示されます。



■ SERIAL IN/LAN 選択

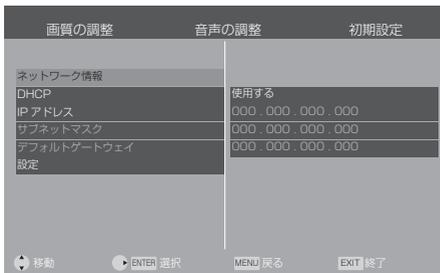
RS-232C または LAN 機能を有効にします。RC-232C 経由で本機をコントロールするときは、「SERIAL IN/LAN 選択」で「SERIAL IN」を選択してください。

お知らせ

- RS-232C と LAN コントロールは同時に使用できません。

■ LAN 設定

LAN 端子を使って LAN からコントロールします。



ネットワーク情報



DHCP / IP アドレス / サブネットマスク / デフォルトゲートウェイ

① <ENTER> で「DHCP」の「使用する」「使用しない」を設定する

「使用しない」を選ぶと IP アドレスなどを手動で設定できます。

DHCP:

使用する： 動的 IP アドレスを使用します。

使用しない： 静的 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを使用します。

IP アドレス:

DHCP サーバーを使用しない場合に IP アドレスを入力します。

サブネットマスク:

DHCP サーバーを使用しない場合にサブネットマスクを入力します。

デフォルトゲートウェイ:

DHCP サーバーを使用しない場合にゲートウェイアドレスを入力します。

お知らせ

- 「DHCP」を「使用する」に設定すると IP アドレスなどはグレー表示になります。

数値の入力方法



1. 設定するアドレスを選んで <ENTER> を押す
2. <左>/<右> と <.> で桁を選ぶ。
3. <左>/<右> と <0~9> で数値を変更する。
4. <ENTER> を押す。

②「設定」を選んで <ENTER> を押す

現在のネットワーク設定を保存します。

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 工場出荷時、あらかじめ下記のように設定されています。

DHCP: 使用する

MAC アドレス

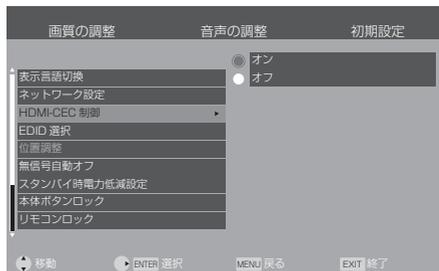
本機の MAC アドレスを表示します。

HDMI-CEC 制御

HDMI-CEC 機能について設定します。

HDMI-CEC 機能について詳しくは「HDMI-CEC 機能を使う」(P.44 ページ)をご覧ください。

「HDMI-CEC 制御」サブメニュー画面



■ オン

「オン」に設定すると、本機は自動的に適切な HDMI 入力に切り換わり、HDMI 接続された機器の電源がオンになり、再生モードが選択されます。

■ オフ

HDMI-CEC 制御を使用しません。

お知らせ

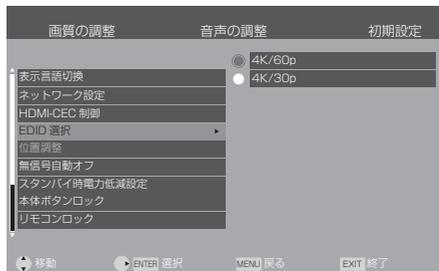
- 接続している HDMI CEC 対応機器の HDMI CEC 機能を有効してください。

EDID 選択

本メニューは HDMI1、および HDMI2 入力時に表示されます。

各端子の EDID のデータを切り換えます。

「EDID 選択」サブメニュー画面



■ 4K/60p :

4K 映像信号 (最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直操作周波数 60Hz) に対応した EDID にします。

■ 4K/30p :

4K 映像信号 (最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直操作周波数 30Hz) に対応した EDID にします。

お知らせ

- HDMI 入力からの信号のみ使用できます。

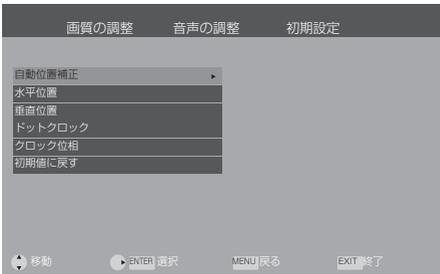
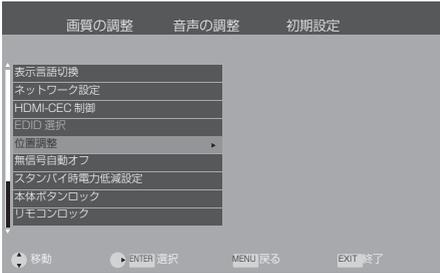
位置調整

画面の位置を調整します。

お知らせ

- 調整のときに画像表示エリアの外側にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。
- PC 入力でのみ使用できます。

「位置調整」サブメニュー画面



自動位置補正

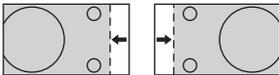
信号入力時に「位置調整」の各項目を自動補正します。

お知らせ

- 切り抜いた画像や暗い画像を入力して「自動位置補正」をすると調整できないことがあります。このような場合は明るく境界線などが明確な画像に切り換えてから再度、「自動位置補正」を行ってください。

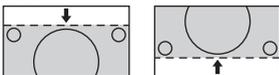
水平位置

水平位置を調整します。



垂直位置

垂直位置を調整します。



ドットクロック

縞模様を表示した場合に、周期的な縞模様（ノイズ）が発生したときは、ノイズが少なくなるように調整してください。

クロック位相

映像のサンプリングクロックを調整します。

小さな文字のコントラストが低い時や、コーナーにちらつきがある場合に役立ちます。

調整パターンを使用するときは、横縞のノイズが表示されないように調整してください。

- 「ドットクロック」を正しく設定したあとに設定してください。

初期値に戻す

「位置調整」の項目を、工場出荷時の設定に戻します。

お知らせ

- 調整のときに画像表示エリアの外側にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。
- PC 入力でのみ使用できます。
- 「自動位置補正」が適切な調整にならないときは、「初期値に戻す」を行ってから「自動位置補正」を実行すると調整できることがあります。

無信号自動オフ

「有効」に設定すると、約 10 分間入力信号が無いと自動的に電源が切れます（スタンバイ）。

電源が切れる 1 分前から、切れるまでの残り時間を表示します。

無信号による自動オフまで 33 秒

スタンバイ時電力低減設定

「オフ」に設定すると、スタンバイ時に LAN 制御で電源をオンにすることができませんが、スタンバイ時の消費電力が高くなります。

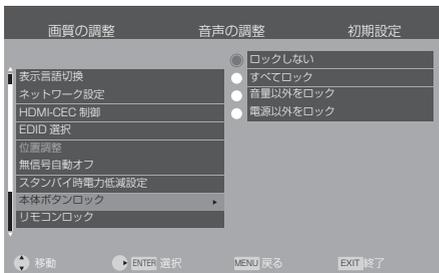
「オン」に設定すると、スタンバイ時に LAN 制御で電源をオンすることはできませんが、スタンバイ時の消費電力を低減できます。

（シリアル制御では、設定のオフ / オンにかかわらずスタンバイからオンにできます。）

本体ボタンロック

本体のボタン操作を制限します。

「本体ボタンロック」- サブメニュー画面



■ ロックしない / ロックする

ロックしない: (55/50/43V 型)

すべての本体のボタンを操作できます。

ロックしない: (65V 型)

本体のボタンを操作できます。

ロックする: (65V 型)

本体のボタンを操作できません。

■ すべてロック (55/50/43V 型のみ)

すべての本体のボタンを操作できません。

■ 音量以外をロック (55/50/43V 型のみ)

< + > と < - > 以外の本体のボタンを操作できないようにします。

■ 電源以外をロック (55/50/43V 型のみ)

< 電源ボタン (⏻) > 以外の本体のボタンを操作できないようにします。

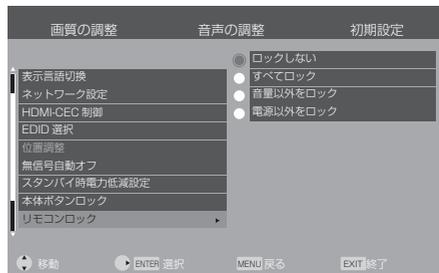
本体ボタンロックを解除するには

- < 再生 (▶) > を長押しすると「L」が画面左上に表示されます。「L」が消える前に ▲▼◀▶ の順で、カーソルボタンを押してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いておき、本体の電源ボタン (⏻) を押しながら、電源プラグを接続して起動することでも同様に解除できます。

リモコンロック

リモコンのボタン操作を制限します。

「リモコンロック」- サブメニュー画面



■ ロックしない

すべてのリモコンのボタンを操作できます。

■ すべてロック

すべてのリモコンのボタンを操作できません。

■ 音量以外をロック

< VOL + > と < VOL - > 以外のリモコンのボタンを操作できないようにします。

■ 電源以外をロック

< POWER ON (I) > と < STANDBY (⏻) > 以外のリモコンのボタンを操作できないようにします。

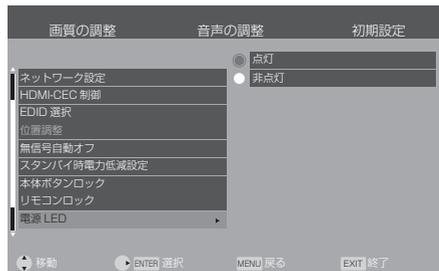
リモコンロックを解除するには

- < 再生 (▶) > を長押しすると「L」が画面左上に表示されます。「L」が消える前に ▲▼◀▶ の順で、カーソルボタンを押してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いておき、本体の電源ボタン (⏻) を押しながら、電源プラグを接続して起動することでも同様に解除できます。

電源 LED

電源ランプの点灯 / 非点灯を切り換えます。

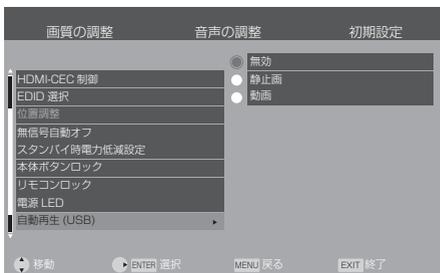
「電源 LED」- サブメニュー



自動再生 (USB)

USB メモリーの中にあるファイルのうち、自動再生するファイルの種類を設定します。

「自動再生 (USB)」- サブメニュー画面



■ 無効

USB の自動再生をしません。

■ 静止画

USB メモリーにある静止画のファイルを自動で再生します。(JPEG のみ)

■ 動画

USB メモリーにある動画のファイルを自動で再生します。(MP4 のみ)

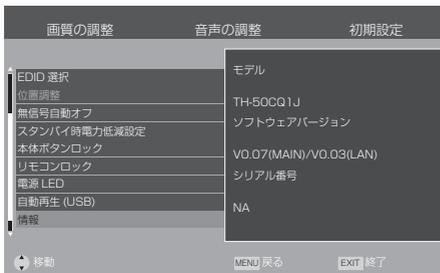
お知らせ

- 静止画と動画は同時に自動再生できません。
([P.40](#) ページ)

情報

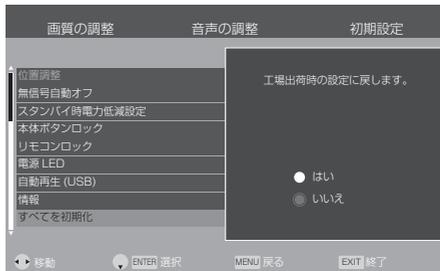
本機の情報を表示します。

「情報」- サブメニュー画面



すべてを初期化

工場出荷時の設定に戻します。



ネットワーク機能を使う

本機はネットワーク機能を備えており、ネットワークに接続されたディスプレイをパソコンで制御することができます。

接続に必要なパソコン環境

はじめに、お使いのパソコンに LAN 機能が装備されているかどうかご確認ください。

ディスプレイとパソコンを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。

チェック 1: LAN ケーブルについて

- ケーブルを正しく接続してください。
- LAN ケーブルは、カテゴリ 5e 以上に対応したものを使用してください。

チェック 2: 有線 LAN の設定

有線 LAN 機能が内蔵されているパソコン

- 有線 LAN を有効にしてください。

有線 LAN 機能が内蔵されていないパソコン

- 有線 LAN アダプターが正しく認識され、有効になっていることを確認してください。
- 事前に有線 LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。

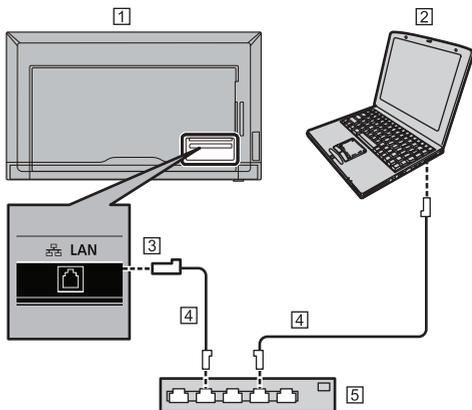
ドライバーのインストール方法は、有線 LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

ネットワーク接続例

お知らせ

- LAN コントロールを無効にすると、スタンバイ状態から本機の電源をオンにはできません。
- ネットワーク機能をご利用になる場合は、「ネットワーク設定」の各設定を行い、「LAN」を選択していただくことを確認してください。(P. 32 ページ)
- RC-232C と LAN コントロールは同時に使用できません。

■ LAN 端子接続



- ① ディスプレイ (本体後面)
- ② パソコン
- ③ LAN 端子
- ④ LAN ケーブル (市販品)
- ⑤ ハブまたはブロードバンドルーター

お知らせ

- LAN ケーブルにはシールドケーブルをご使用ください。シールドケーブルをご使用にならない場合、映像にノイズが発生することがあります。
- ブロードバンドルーターやハブは、10BASE-T/100BASE-TX に対応していることをご確認ください。
- 静電気を帯びた手 (体) で LAN 端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN 端子および LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- 接続方法についてはネットワーク管理者にご相談ください。

LAN への接続設定

重要

LAN 経由で制御するときのネットワーク環境は、外部ネットワークから物理的に隔離するか、ファイアウォールを使って知らない機器からの不正な接続や制御をされないようにする必要があります。

本機の IP アドレスとサブネットマスクをお使いの LAN に一致するように設定します。

これらの設定は、本機でも本機に接続されたパソコンでも行えます。

設定は、LAN の構成によって異なります。

接続の方法については、ネットワーク管理者にご相談ください。

本機の設定をする

「初期設定」メニューにある「ネットワーク設定」の「SERIAL IN/LAN 選択」を「LAN」に設定し、「LAN 設定」の詳細を設定してください。(☞ 32 ページ)

各項目の設定が終わったら、「設定」を選んで <ENTER> を押してください。

■ ネットワーク情報

LAN の設定情報が表示されます。(☞ 32 ページ)

コマンドベースでの制御

パソコンにあるソフトウェアやアプリケーションから、シリアルコマンド (☞ 17 ページ) を使用して本機を制御できます。

詳しくは、パソコンのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

サポートするコマンド

シリアル制御で使用するコマンドをサポートしています。(☞ 17 ページ)

- 出荷時のユーザー名とパスワードは、以下の通りです。

ユーザー名: dispadmin

パスワード: @Panasonic

ユーザー名とパスワードを変更したいときは、シリアルラインで以下のコマンドを使用してください。

コマンド	パラメーター	制御内容
SSU:UNM	*...*	LAN 制御のユーザー名 (最大 16 パラメーター) パラメーターの範囲 (空白) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z _ a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z - @
SSU:UPW	*...*	LAN 制御のパスワード (最大 16 パラメーター) パラメーターの範囲 (空白) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z _ a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z - @

1 パソコンを本機に接続する

1. IP アドレスとデータポート番号 (10101) を指定し、パソコンを本機に接続します。

接続に成功すると、「Login:」が応答されます。

2. ユーザー名を送信します。

- 「ユーザー名」+ 「」を送信する
- ユーザー名を設定していない場合は、「」を送信する
- 送信が成功したら、「 Password:」が応答されます。

3. パスワードを送信します。

- 「パスワード」+ 「」を送信する
- パスワードを設定していない場合は、「」を送信する
- 送信が成功したら、「OK 」が応答されます。

2 コマンドを送信し、本機を制御する

使用するコマンドは、RS-232C のコマンドと同じです。操作については、通信方法 (☞ 17 ページ) を参照してください。

使用できるコマンドは、シリアルコマンドテーブルに記載されています (☞ 17 ページ)。

3 本機との接続終了し、制御を終了する

- 「BYE 」を送信する
送信が成功したら、「goodbye」が応答され、接続が解除されます。

お知らせ

- 「BYE」コマンドを送信しなかったときは、最後のデータを受け取ってから 1 分後に、本機との接続は自動的に切断されます。
- ポートが開いている時間を短くするには、コマンドやコマンドのグループの送受信のたびに 1 ~ 3 の手順を繰り返してください。

USB メディアファイル再生機能を使う

USB メモリー内に保存された静止画や音楽、動画を表示する機能です。静止画を表示しながら音楽の再生もできます。

USB メモリーについて (🔊 18 ページ)

■ サポートするフォーマット

本機のメディアプレーヤーは以下の形式をサポートしています。USB メモリーのルート直下に保存します。

静止画

拡張子	フォーマット	制限事項
jpg/ jpeg	JPEG	最大 15 380 x 8 640 (ベースラインのみ対応) YUV、RGB

動画

拡張子	映像		音声
	コーデック/ プロファイル	解像度	コーデック
mp4	H.264/ Main Profile and High Profile @ Level4.0	1920x1080@30.0 ビットレート： 最大 20 Mbps	MP3 (MPEG-1 Layer2、 MPEG-1 Layer3、 MPEG-2 Layer3) AC3、 LPCM、 ADPCM、 AAC、 DD+、 HE-AAC
ts	MPEG2/ MP @ HL	1920x1080@30.0 ビットレート： 最大 20 Mbps	
	H.264/ Main Profile and High Profile @ Level4.0		
mpg	MPEG1/ Main Profile MPEG2/ Main Profile	1920x1080@30.0 ビットレート： 最大 20 Mbps	
avi	MPEG2/ MP @ HL	1920x1080@30.0 ビットレート： 最大 20 Mbps	
	H.264		
	JPEG	640x480@30.0 ビットレート： 最大 10 Mbps	

音楽ファイル

拡張子	音声コーデック
mp3	MP3 (MPEG-1 Layer2、MPEG-1 Layer3、 MPEG-2 Layer3)

音声			
コーデック		サンプリング周波数	ビットレート
MP3	MPEG-1 Layer2	16 KHz ~ 48 KHz	8 Kbps ~ 384 Kbps
	MPEG-1 Layer3	16 KHz ~ 48 KHz	8 Kbps ~ 320 Kbps
	MPEG-2 Layer3	16 KHz ~ 48 KHz	8 Kbps ~ 320 Kbps
AC3		32 KHz、44.1 KHz、 48 KHz	32 Kbps ~ 640 Kbps
LPCM		8 KHz ~ 48 KHz	64 Kbps ~ 1.5 Mbps
ADPCM		8 KHz ~ 48 KHz	384 Kbps
DD+		32 KHz、44.1 KHz、 48 KHz	32 Kbps ~ 6 Mbps
AAC		8 KHz ~ 48 KHz	
HE-AAC		8 KHz ~ 48 KHz	

お知らせ

- 記載されている対応フォーマットのファイルでも再生できないものがあります。
- フォルダー名やファイル名に使用できる英数字は 32 文字までです。
- 1 ファイルの最大サイズは、4GB までです。

再生する

お知らせ

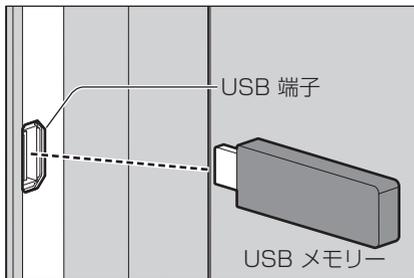
- ファイルは、USB メモリーにコピーした順序にしたがって表示 / 再生されます。再生したい順序にファイルを USB メモリーにコピーしてください
- USB メモリーが接続されたときや電源がオンになったときに、静止画や動画を自動再生できます。(P.40 ページ)

■再生したいメディアを選ぶ

1. ディスプレイ側面の USB 端子にメディアプレーヤー用の USB メモリーを挿入する

お知らせ

- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。本機に接続可能な USB メモリーをご使用ください。



2. 入力を「USB」に切り換える

3. ◀ / ▶ で再生したいメディアを選び、<ENTER> を押す

■ファイルの再生

1. 再生したいファイルを表示する

▲▼◀▶ でフォルダーを選び、<ENTER> を押し、フォルダー内のファイルを表示させます。

2. 再生したいファイルを選び、<ENTER> を押す

ファイルが選択されます。

複数のファイルを選択できます。違うフォルダーのファイルも選択できます。

3. <再生 (▷)> を押す

選択したファイルが再生されます。

お知らせ

- 画面モードは「ノーマル」になります。
- ファイルを選択しないで<再生 (▷)>を押すと、フォルダーにあるすべてのファイルが再生されます。
- 「戻る」フォルダーを選ぶと、ルートフォルダーに戻ります。「上へ」フォルダーを選ぶと、次の階層のフォルダーに行きます。

- 音量はリモコンの <VOL +> / <VOL -> と <MUTE> で調整できます。

- 再生中の操作について (P.41 ページ)

■再生を止めるには

<EXIT> を押す

自動再生

USB メモリーにある静止画や動画を自動で再生できます。(最大 30 ファイル)

■準備

ファイルを準備します。「001.jpg」～「030.jpg」のように再生したいファイルに「001～030」をつけてください。

1. USB メモリーのルートフォルダーに「AUTO_PLAYBACK」という名前のフォルダーを作る

ファイルの種類を選びます。

1. <MENU> を押し、カーソルボタン <◀ / ▶> で「初期設定」を選び、カーソルボタン <▲ / ▼> で「自動再生 (USB)」を選び <ENTER> を押す
2. カーソルボタン <▲ / ▼> でファイルの種類を選び、<ENTER> を押す

■ファイルの自動再生

USB メモリーを接続し (P.18 ページ)、本機の電源を入れます。

自動再生が始まります。

本機の電源を入れたあとも、USB メモリー (P.18 ページ) を接続できます。

自動再生が始まります。

お知らせ

- 静止画と動画は同時に自動再生できません。
- 自動再生は、「AUTO_PLAYBACK」フォルダーにあるすべての静止画や動画のファイルを繰り返し再生します。
- 自動再生中は、<VOL +> / <VOL -> と <EXIT> のみ使用できます。

■自動再生を止めるには

<EXIT> を押す

再生中の操作

再生が始まると、画面の下に操作バーが表示され、以下の操作ができます。操作バーが表示されていないときは、<MENU> を押すと表示します。

項目	詳細
再生 / 一時停止	ファイルの再生 ファイルの一時停止
FB	巻き戻し (音楽、動画のみ)
FF	早送り (音楽、動画のみ)
前へ	前のファイルに戻る
次へ	次のファイルへ進む
停止	再生の停止

項目	詳細
Repeat none	Repeat none - メニューの中のファイルを選んで再生を始めたあと、同じフォルダーにあるファイルを最後まで一度再生します。
Repeat 1	また、メニューで複数のファイルを選んで再生を始めると、選んだファイルを一度だけ再生します。
Repeat all	Repeat 1 - メニューで選んだ一つのファイルを繰り返し再生します。 Repeat all - プレイリストにあるファイルを繰り返し再生します。
Set A	再生や繰り返しの間隔を設定します。
Set B	Set A -
None	開始点を設定します。 Set B - 終了点を設定します。 (音楽、動画のみ)
ランダム再生オン	ランダム再生オン - ランダムに全ファイルの再生を繰り返します。
ランダム再生オフ	ランダム再生オフ - 順番に全ファイルを再生します。
音楽オン	音楽オンを選ぶと、同じフォルダーにある静止画と音楽のファイルを同時に再生します。
音楽オフ	(静止画のみ)
再生間隔	スライドショーの時間を設定します。 (静止画のみ)
プレイリスト	プレイリストを表示します。
情報	ファイルの情報を表示します。

回転 (時計回り)	時計回りに 90° 回転します。 (静止画のみ)
回転 (反時計回り)	反時計回りに 90° 回転します。 (静止画のみ)
Zoom in	ファイルを拡大します。 (静止画のみ)
Zoom out	ファイルを縮小します。 (静止画のみ)
移動	拡大した静止画の可視領域を移動します。 (静止画のみ)
ダイナミック グラフィック スポーツ シネマ スタンダード	「映像メニュー」を選択します。 (動画のみ)

音楽 / 動画の再生

1 ◀▶ で再生するメディアを選び <ENTER> を押す



2 ▲▼◀▶ を押して、再生したいファイルを選択する

- ▶ : 選択したファイルを再生
- ENTER : ファイルを選択 (複数選択できます)
- EXIT : メディアの種類を選ぶ画面へ戻る



3 <再生>(▶) を押す

選択した動画が全画面で表示されます。

お知らせ

- 音楽再生中は、音楽アイコンが画面に表示されます。



1. 操作バー

<MENU> を押すと、画面の下に操作バーが表示されます。

◀▶ で、以下の操作を選び、<ENTER> で実行します。

再生 / 一時停止	音楽 / 動画の再生開始 再生の一時停止
FB	巻き戻し FB2X / FB4X / FB8X / FB16X
FF	早送り FF2X / FF4X / FF8X / FF16X
前へ	前のファイルに戻る 動画再生中は、1 回押すと最初から再生します。
次へ	次のファイルへ進む
停止	再生の停止
Repeat all	Repeat all -
Repeat none	同じフォルダーにある全ファイルを繰り返し再生します。
Repeat 1	Repeat none - メニューの中のファイルを選んで再生を始めたあと、同じフォルダーにあるファイルを最後まで一度再生します。
	Repeat 1 - メニューで選んだ一つのファイルを繰り返し再生します。
ランダム再生オン	ランダムに全ファイルの再生を
ランダム再生オフ	繰り返します。
Set A	Set A -
Set B	開始点を設定します。
None	Set B - 終了点を設定します。
プレイリスト	プレイリストを表示します。
情報	ファイルの情報を表示します。
ダイナミックグラフィック	「映像メニュー」を選択します。 (動画のみ)
スポーツ	
シネマ	
スタンダード	
	リモコンのナビゲーションボタン<◀◀、 、▶▶、▶▶>とカーソルボタン<◀/▶>でもファイルを操作できます。(p.41 ページ)

2. 情報画面

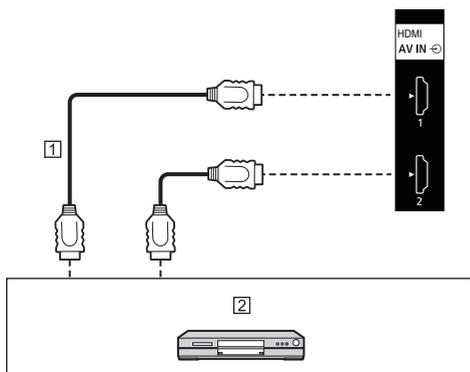
<DISPLAY> を押すと、情報画面が表示されます。

HDMI-CEC 機能を使う

HDMI-CEC 機能は、本機と HDMI-CEC 対応機器の連動制御により、本機のリモコンのみで HDMI-CEC 対応機器の基本操作を可能にする機能であり、また、HDMI-CEC 対応機器のリモコン（あるいは本体のボタン）のみで、本機の電源オフ/オンと入力切り換えを可能にする機能です。

接続例

HDMI 1 または HDMI 2 端子に HDMI-CEC 対応機器を接続します。



- ① HDMI ケーブル（市販品）
- ② DVD レコーダー / DVD プレーヤー、
Blu-ray レコーダー / Blu-ray プレーヤー

設定

- ① 接続した機器側（HDMI-CEC 対応機器）で、本機能が動作するように設定します。
- ② 「HDMI-CEC 制御」を「オン」にします。
（[P.33](#) ページ）
- ③ すべての機器の電源を入れ、本機の電源を切 / 入れたあと、HDMI1 または HDMI2 入力で映像が正しく映ることを確認してください。

プリセット信号

本機が表示できる映像信号は下表のとおりです。

- プラグアンドプレイ対応信号欄内 HDMI 信号の内容は次のとおりです。

1: 4K/60p, 2: 4K/30p

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	フォー マット*2	プラグアンドプレイ 対応信号*4		
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			HDMI		PC
						1	2	
480/60i	720 (1 440) x 480j*1	15.73	59.94	27.00	H	○	○	—
576/50i	720 (1 440) x 576j*1	15.63	50.00	27.00	H	○	○	—
480/60p	720 x 480	31.47	59.94	27.00	H	○	○	—
576/50p	720 x 576	31.25	50.00	27.00	H	○	○	—
720/60p	1 280 x 720	45.00	60.00	74.25	H	○	○	—
720/50p	1 280 x 720	37.50	50.00	74.25	H	○	○	—
1080/60i	1 920 x 1 080i	33.75	60.00	74.25	H	○	○	—
1080/50i	1 920 x 1 080i	28.13	50.00	74.25	H	○	○	—
1080/24p	1 920 x 1 080	27.00	24.00	74.25	H	○	○	—
1080/25p	1 920 x 1 080	28.13	25.00	74.25	H	○	○	—
1080/30p	1 920 x 1 080	33.75	30.00	74.25	H	○	○	—
1080/60p	1 920 x 1 080	67.50	60.00	148.50	H	○	○	—
1080/50p	1 920 x 1 080	56.25	50.00	148.50	H	○	○	—
3840 x 2160/24p	3 840 x 2 160	54.00	24.00	297.00	H	○	○	—
3840 x 2160/25p	3 840 x 2 160	56.25	25.00	297.00	H	○	○	—
3840 x 2160/30p	3 840 x 2 160	67.50	30.00	297.00	H	○	○	—
3840 x 2160/60p	3 840 x 2 160	135.00	60.00	594.00	H	○	—	—
3840 x 2160/50p	3 840 x 2 160	112.50	50.00	594.00	H	○	—	—
4096 x 2160/24p	4 096 x 2 160	54.00	24.00	297.00	H	○	○	—
4096 x 2160/25p	4 096 x 2 160	56.25	25.00	297.00	H	○	○	—
4096 x 2160/30p	4 096 x 2 160	67.50	30.00	297.00	H	○	○	—
4096 x 2160/60p	4 096 x 2 160	135.00	60.00	594.00	H	○	—	—
4096 x 2160/50p	4 096 x 2 160	112.50	50.00	594.00	H	○	—	—
640 x 480/60	640 x 480	31.47	59.94	25.18	R/H	○	○	○
800 x 600/60	800 x 600	37.88	60.32	40.00	R/H	○	○	○
1024 x 768/60	1 024 x 768	48.36	60.00	65.00	R/H	○	○	○
1280 x 720/60	1 280 x 720	45.00	60.00	74.25	R/H	○	○	○
1280 x 800/60	1 280 x 800	49.70	59.81	83.50	R/H	○	○	○
1280 x 960/60	1 280 x 960	60.00	60.00	108.00	R/H	○	○	○
1280 x 1024/60	1 280 x 1 024	63.98	60.02	108.00	R/H	○	○	○
1280 x 1024/75	1 280 x 1 024	79.98	75.02	135.00	R/H	○	○	○
1360 x 768/60	1 360 x 768	47.71	60.02	85.50	H	—	○	—
1400 x 1050/60	1 400 x 1 050	65.32	59.98	121.75	H	○	○	—
1440 x 900/60	1 440 x 900	55.94	59.89	106.50	R/H	○	○	○
1600 x 900/60	1 600 x 900*3	60.00	60.00	108.00	R/H	○	○	○
1600 x 1200/60	1 600 x 1 200	75.00	60.00	162.00	R/H	○	○	○
1680 x 1050/60	1 680 x 1 050	65.29	59.95	146.25	R/H	○	○	○
1920 x 1080/60	1 920 x 1 080	67.50	60.00	148.50	R/H	○	○	○
1920 x 1200/60	1 920 x 1 200*3	74.04	59.95	154.00	R/H	○	○	○
720 x 400/70	720 x 400	31.50	70.00	28.30	R/H	○	○	○

*1: Pixel-Repetition 信号（ドットクロック周波数 27.0MHz）のみ

*2: フォーマットを表す記号は以下の通りです。

R :D-sub RGB (PC IN)

H: HDMI (HDMI 1, HDMI 2)

*3: VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 準拠

*4: プラグアンドプレイ対応信号欄に○がある信号は、本機の EDID（拡張ディスプレイ識別データ）に記述している信号です。

プラグアンドプレイ対応信号欄に○がない信号は、本機が対応していてもパソコン側で解像度の選択ができない場合があります。

お知らせ

- 自動判別した信号フォーマットが、実入力信号と異なった表示になる場合があります。
- 解像度のドット数の後ろにある「i」はインターレース信号を意味します。

修理を依頼される前に…

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
画面に光らない点がある	● 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られています。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。これは故障ではありません。	—
電源が入らない	● コンセントまたは本機から電源プラグやコネクタが外れていませんか。	12
電源が自動的に切れる	● 「無信号自動オフ」が「オン（有効）」に設定されていませんか。	34
リモコンで操作できない	● 電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。 ● リモコン受信部に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。 ● リモコン受信部とリモコン間に障害物はありませんか。 ● 本機専用のリモコンを使用していますか。（他のリモコンでは動作しません） ● 「リモコンロック」設定を「ロックしない」以外にしていませんか。	— — 20 — 35
映像が出るまでに時間がかかる	● 本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	—
映像が不安定になる	● 互換性のない信号がもしれません。 ● パソコンを使っているときは、自動調整機能を使ってみてください。	—
画面にはん点が出る	● 自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けている可能性があります。	—
色が薄い	● 色の濃さの調整がずれていませんか。（映像の調整値をご確認ください。）	28
色模様が出たり 色が消える	● 他の映像機器から影響（妨害電波）を受けていませんか。 本機の設置場所を変えると良化することもあります。	—
画面の上または下が 欠ける	● 映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか。 画面位置の調整をしてください。	34
画面の上下に映像の 出ない部分ができる	● 16：9より横長の映像ソフト（シネマサイズのソフトなど）のときは、画面の上下に映像のない部分ができることがあります。	—
映像の輪郭が チラチラする	● 液晶パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがありますが、故障ではありません。	—
本体のボタンで操作できない	● 「本体ボタンロック」設定を「ロックしない」以外にしていませんか。	35
映像、音声が出ない ことがある	● HDMI 信号をセレクトや分配器を通して本機に入力した場合、使用する機器によっては映像と音声の出力が正常に行われない場合があります。 本機の電源を入れ直すまたは、セレクトや分配器の交換を行うと症状が改善する場合があります。	—
映像が出ないなど表示が おかしい、または急にリ モコンが操作できなくな った	● 本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。万一「リモコンが操作できない」「表示が乱れる」など、何かおかしいと感じられたときは、電源プラグをコンセントから抜き、約 5 秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。	22
HDMI 入力からの映像が おかしい	● 4K をサポートしている HDMI ケーブルかどうか確認してください。 ● 本機と互換がある信号か確認してください。 ● 接続している機器が 4K をサポートしていない場合は「EDID 選択」を「4K/30p」に設定してください。	—
PC 入力からの映像がおか しい	● パソコンの設定が正しいかどうか確認してください。 ● 本機と互換がある入力信号かどうか確認してください。	—

こんなとき	ここをお調べください	参 照 ページ
RS-232C 制御ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続は正しく行われていますか。 ● 「ネットワーク設定」の「SERIAL IN/LAN 選択」が「SERIAL IN」になっていますか。 	<p>16</p> <p>32</p>
LAN 制御ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続は正しく行われていますか。 ● コマンドコントロールで制御する場合は、「ネットワーク設定」の「SERIAL IN/LAN 選択」が「LAN」になっていますか。 ● 「LAN 設定」は正しく設定されていますか。 	<p>37</p> <p>32</p> <p>32</p>
LAN 制御のパワーオンコマンドが送信されているのに電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「スタンバイ時電力低減設定」が「オン」であれば、「オフ」に設定してください。 	<p>34</p>

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

47 ページ「修理を依頼される前に…」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

PASS にて登録いただきますと、追加で2年間の無償修理サービス特約が適用されます。

「PASS」とは、パナソニック 業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサポートサイトの名称です。

詳しくは、WEB サイト
(<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>)
をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

パナソニック コネクト株式会社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号
製品名・品番・お買い上げ日
故障または異常の内容
訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリーダイヤル  **0120-872-002**
※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金 (祝日と弊社休業日を除く)
9:00～17:30 (12:00～13:00は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは
<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/supportcenter/>

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

本体

品番	TH-65CQ1J (65V 型) *1	TH-55CQ1J (55V 型) *1
種類	UHD 液晶ディスプレイ	
使用電源	AC100 V ± 10 % 50 Hz / 60 Hz	
消費電力	135 W	122 W
	リモコンで電源「切」時 約 0.5 W	
音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA	
スピーカー	フルレンジ : 132 mm × 25 mm × 1 / φ 70 mm × 1 2 個	
液晶ディスプレイ パネル	VA パネル (Direct LED バックライト)	
	65 V 型*1 (アスペクト比 16 : 9)	55 V 型*1 (アスペクト比 16 : 9)
画面寸法	幅 : 1 428.4 mm	幅 : 1 209.6 mm
	高さ : 803.5 mm	高さ : 680.4 mm
	対角 : 1 638.9 mm	対角 : 1 387.8 mm
画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)	
動作使用条件	温度 : 0 °C ~ 40 °C*2 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
保管条件	温度 : - 20 °C ~ 60 °C 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
稼働時間	16 時間 / 日	
HDMI 入力端子 HDMI 1 ・ HDMI 2	TYPE A コネクター*3 × 2 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)	
パソコン入力端子 PC IN	ミニ D-sub 15 ピン (DDC2B 対応) × 1	
音声入力端子 AUDIO IN	ステレオミニジャック (M3) × 1 0.5 V [rms]	
音声出力端子 AUDIO OUT	RCA ピンジャック × 2 0.5 V [rms] 出力 : 可変 (-∞ ~ 0 dB) (1 kHz 0 dB 入力, 10 k Ω 負荷時)	
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御用端子 D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠	
LAN 端子 LAN	通信方式 : RJ45 10BASE-T/100BASE-TX	
USB 端子 USB	USB コネクター × 1、TYPE A DC 5V/0.5 A	
外形寸法	幅 : 1 463 mm	幅 : 1 240 mm
	高さ : 847 mm (リモコン受信部を除く : 843 mm)	高さ : 718 mm (リモコン受信部を除く : 713 mm)
	奥行 : 97 mm	奥行 : 80 mm
質量	約 24.0 kg	約 15.0 kg
キャビネット材質	樹脂 (前面、バックカバー)	

品番	TH-50CQ1J (50V型) ※1	TH-43CQ1J (43V型) ※1
種類	UHD 液晶ディスプレイ	
使用電源	AC100 V ± 10 % 50 Hz / 60 Hz	
消費電力	113 W	102 W
	リモコンで電源「切」時 約 0.5 W	
音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA	
スピーカー	フルレンジ : 132 mm × 25 mm × 1 / φ 70 mm × 1 2個	
液晶ディスプレイ パネル	VA パネル (Direct LED バックライト)	
	50 V 型※1 (アスペクト比 16 : 9)	43 V 型※1 (アスペクト比 16 : 9)
画面寸法	幅 : 1 095.8 mm 高さ : 616.4 mm 対角 : 1 257.3 mm	幅 : 941.1 mm 高さ : 529.4 mm 対角 : 1 079.8 mm
	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)	
動作使用条件	温度 : 0 °C ~ 40 °C ※2 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
保管条件	温度 : - 20 °C ~ 60 °C 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
稼働時間	16 時間 / 日	
HDMI 入力端子 HDMI 1・HDMI 2	TYPE A コネクタ※3 × 2 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)	
パソコン入力端子 PC IN	ミニ D-sub 15 ピン (DDC2B 対応) × 1	
音声入力端子 AUDIO IN	ステレオミニジャック (M3) × 1 0.5 V [rms]	
音声出力端子 AUDIO OUT	RCA ピンジャック × 2 0.5 V [rms] 出力 : 可変 (-∞ ~ 0 dB) (1 kHz 0 dB 入力, 10 k Ω 負荷時)	
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御用端子 D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠	
LAN 端子 LAN	通信方式 : RJ45 10BASE-T/100BASE-TX	
USB 端子 USB	USB コネクタ × 1, TYPE A DC 5V/0.5 A	
外形寸法	幅 : 1 124 mm 高さ : 653 mm (リモコン受信部を除く : 647 mm) 奥行 : 77 mm	幅 : 969 mm 高さ : 566 mm (リモコン受信部を除く : 560 mm) 奥行 : 77 mm
	質量 約 13.0 kg	
キャビネット材質	樹脂 (前面、バックカバー)	

リモコン

使用電源	DC 3 V (単 4 形マンガンまたはアルカリ乾電池 2 個)
操作距離	約 7 m 以内 (リモコン受信部正面)
質量	約 91 g (乾電池含む)
外形寸法	幅 : 48 mm 高さ : 190 mm 奥行 : 27 mm

※ 1ディスプレイのV型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 2高地 (海拔 1 400 m 以上 2 800 m 未満) で使用する場合は使用環境温度は 0°C ~ 35°C になります。

※ 3VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズのライセンスに基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Dolby Audio およびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内のみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

EU



警告

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品番
	販売店名	☎ () -	お客様ご相談窓口 ☎ () -

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

中国印刷

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2022